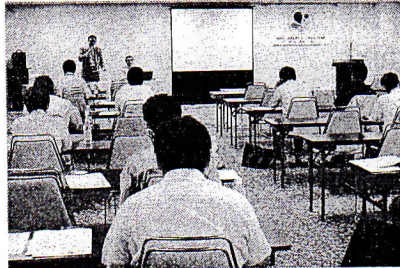


中国・四国支部 第1回技術講習会

受験対策や下水道BCPなど

水コン協 今年度第1回技術講習会開く
中国四国支部

(一社)全国上下水道コンサルタント協会中国・四国支部(正木普支部長)の平成24年度第1回技術講習会が26日、広島市南区のワークピア広島で開かれた。会員のほかに自治体等からも参加があり、約50人が熱心に聴講した。



講習会のもよう

このあと、日水コンの

冒頭、下村三朗副支部長が開会挨拶で「本日は、昨年度に引き続き、支部主催の技術士受験対策講習会に加え、本部から講師を招いて本部提案型講習会を実施する。本部提案型講習会とは、協会活動で得られた成果を広く会員に周知し、上下水道技術者の技術向上につなげるために実施するもの。本日は、受験対策講習会を含めて4項目あり、1日かけた長丁場になるが、この講習会が皆さんの技術力向上に対して有意義なものになることを願っている」と述べた。

鳥越敏文氏(下水道委員会委員)が講師を務め、8月に開催される技術士第二次試験の出題傾向や可否の判定基準などをわかりやすく解説した。また、昼休憩をはさんで、日水コンの小西康彦氏(災害時支援委員会委員長)と宮本勝利氏(技術委員会耐震対策小委員会委員)が、東日本大震災における上下水道施設の被害や対応事例を紹介。エイト日本技術開発の田口由明氏(技術委員会耐震対策小委員会委員)は下水道のBCP策定をテーマに講演した。このほか、鳥越氏による平成24年度下水道用設計掛表の解説もあった。

参加者らはメモを取りながら終始真剣な表情で講義を受け、技術の研鑽に努めた。

50人が受講